



1950年代のヴィルツカラを象徴する照明

1958年にタピオ・ヴィルツカラによってデザインされたペンダントランプです。国際的評価を確立した幾何学的デザイン期を代表する作品であり、端正なフォルムは設置場所を選ばず、多様な空間に美しく調和します。型吹き成形によるマットなホワイトオーバルガラスのシェードが光をやわらかく拡散し、洗練された落ち着いた佇まいを演出します。

トリエンナーレ

Triennnale

Designed by Tapio Wirkkala [1951]

Made in Finland

Φ.230 H.300 (重量 1.6kg)

ガラス (サンドブラスト加工仕上げ)

E26 白熱球 40W×1または

E26 LED電球 40W相当×1 ※別売り

コード長: 1.4m

引掛けシーリング

¥88,000 (tax-included)

*情報は発売前のもです。詳細は変更になる可能性もございます



1. ガラスシェードの表面にはサンドブラスト加工が施され、マットな質感。

2. 点灯時。